

平成29年度

民間社会福祉施設職員等海外研修・調査

企画ポイント及び日程表

- ヨーロッパ班（障害児・者福祉関係 職員）
- 北米班（高齢者福祉関係 職員）
- オセアニア班（高齢者福祉関係 職員）

◇この日程は予定です◇

訪問する都市及び訪問先の施設等は予定であり、変更になることがあります。詳細な日程表（訪問先施設等を含む）は、派遣決定者へオリエンテーションの際にお知らせします。

1 企画ポイント

本研修・調査は、当社の持つノウハウに加え、スウェーデンを中心に北欧の福祉視察において実績のあるスウェーデン・クオリティ・ケア（SQC）のアイデアをもとに、ご参加いただく障がい児・者福祉施設にご勤務される方々の目線に立ち、またご帰国後、この海外研修・調査で学んだことを各施設で活かしていただけるような充実した研修プログラムとなっております。

スウェーデン・クオリティ・ケア株式会社（SQC）・・・スウェーデンのケア企業、福祉用具企業、大学、コミュニティや県自治体などがそれぞれのノウハウやプロダクトを広く世界に貢献するため、2007年に設立され、スウェーデン外務省、スウェーデン大使館商務部と連携をしています。

※SQCは、平成27・28年度の民間社会福祉施設職員等海外研修・調査「ヨーロッパ班」。平成28年度の民間社会福祉施設職員等海外研修・調査「施設長班」をお手配させていただいた際にも現地コーディネーターを依頼した企業です。

●テーマについて

世界幸福度ランキングで常に上位に入るスウェーデン・デンマークを訪問し、社会福祉という観点から、幸福度を生み出す政策や職場環境などを学び、日本における社会福祉を考える見識を深めることを目的とします。

●訪問施設の主な特徴について

- 重症心身障がい者の特別高等学校で、制度などについて学ぶ（スウェーデン）。
- ハビリテーションという日本ではあまり馴染みのないケア方法を学ぶ（スウェーデン）。
- 就労の場やメディアスクールが一体となった施設で、障がい者の就労などについての現状を学ぶ（デンマーク）。
- 障がい児のグループホームと学校が一貫した施設で、その利点を学ぶ（デンマーク）。
- 日本では珍しいスヌーズレンハウスを訪問し、その役割などを学ぶ（デンマーク）。

●その他のポイントについて

- ストックホルム・デンマークでは、各5施設訪問予定ですが、その内1施設では、午前中は通常通りの視察。そして、お昼を挟んで同施設にて、利用者さまやスタッフとの交流会。また、デンマークでは、スヌーズレン体験を予定。
- ストックホルム ⇒ ヘルシンキ間の移動は、豪華客船シリヤライン（Aクラス）でバルト海クルーズ。
- ストックホルムでは、地下鉄の駅に描かれているアートも鑑賞。
- 各都市で専門分野において実績のある、通訳がご案内。
- 現地をより体感いただく為、団員の皆さまのご負担にならない程度に公共の交通手段を利用。
- 視察を挟む際の昼食場所は、障がい者福祉施設。または、障がい者の働くレストランを選定。
- 3ヶ国ともに、立地条件の良い街中のホテルを確保済。

過去2年、計3回（ヨーロッパ班2回 / 施設長班1回）の民間社会福祉施設職員等海外研修・調査をお手配させて頂いた経験。そして、その際の添乗業務中に伺った団員の方々からの生の声を今回のプログラムに反映させた自信をもってご提案できる内容となっておりますので、団員の方々にも必ずご満足いただけると確信しております。

2 平成 29 年度 民間社会福祉施設職員等海外研修・調査 日程

【ヨーロッパ班 / 障害児・者福祉関係】

日次	月 日	発着地/滞在地	時間	交通機関	行 動	食事
1	9月3日 (日)	成田空港発 コペンハーゲン着 コペンハーゲン発 ストックホルム着	11:40 16:05 18:10 19:20	SK-984 SK-410 専用車	成田空港に集合、空路、コペンハーゲンへ (時差:-7時間、所要:11時間25分) 着後、添乗員の案内でお乗り継ぎ。 空路、ストックホルムへ(時差:無、所要:1時間10分) 着後、ホテルへ移動 (ストックホルム泊)	朝:× 昼:機 夕:○
2	9月4日 (月)	ストックホルム	午前 午後	専用車 専用車	●スウェーデン・クオリティ・ケア(SQC)のスタッフ・通訳から、 SQC会議室(予定)で、障がい児・者福祉のレクチャー (民間企業) ●フヘグヴィークス・ジムナシウム(特別高等学校) (ストックホルム泊)	朝:○ 昼:○ 夕:○
3	9月5日 (火)	ストックホルム	午前 午後	専用車 専用車	●シヨンドルス・グループボスタード(グループホーム) ●ハビリテーリングセンター・ヤルヴァ(ハビリテーションセンター) (ストックホルム泊)	朝:○ 昼:○ 夕:○
4	9月6日 (水)	ストックホルム	午前 午後	専用車	●アストラカン・ターグリガ・ヴァルクサムヘート (デアクティビティーセンター) ※午後は、午前中に訪問した同施設にて利用者さんやスタッフとの 交流会を予定しております。 (ストックホルム泊)	朝:○ 昼:○ 夕:○
5	9月7日 (木)	ストックホルム ストックホルム発	午前 16:45	専用車 クルーズ	ストックホルム市内文化施設視察 豪華客船タリク シリヤラインで、航路、ヘルシンキへ (時差+1時間、所要16時間10分) (船中泊)	朝:○ 昼:○ 夕:○
6	9月8日 (金)	ヘルシンキ着	9:55		下船。 その後、ヘルシンキ市内文化施設視察 (ヘルシンキ泊)	朝:○ 昼:○ 夕:○
7	9月9日 (土)	ヘルシンキ	終日		資料整理 オプションツアー:世界遺産 スオメンリンナ島視察 (ヘルシンキ泊)	朝:○ 昼:○ 夕:○
8	9月10日 (日)	ヘルシンキ発 コペンハーゲン着	11:15 11:55	SK-1709	空路、コペンハーゲンへ(時差:-1時間、所要:1時間40分) 着後、コペンハーゲン市内文化施設視察 (コペンハーゲン泊)	朝:○ 昼:○ 夕:○
9	9月11日 (月)	コペンハーゲン	午前 午後	専用車 専用車	●コーディネーター。または通訳から、障がい児・者福祉のレクチャー ●スヴェーネヴァイ (軽度の障がい者のための就労施設とメディアスクール) (コペンハーゲン泊)	朝:○ 昼:○ 夕:○
10	9月12日 (火)	コペンハーゲン	午前 午後	専用車 専用車	●ハウネゴード(グループホーム+学校) ●イェルベミッデルセントレット(補助職員センター) (コペンハーゲン泊)	朝:○ 昼:○ 夕:○
11	9月13日 (水)	コペンハーゲン	午前 午後	専用車	●スヌーズルフセット・ゲントフテ(スヌーズレンハウス) ※午後は、午前中に訪問した同施設にて利用者さんやスタッフとの 交流会。また、スヌーズレン体験を予定しております。 (コペンハーゲン泊)	朝:○ 昼:○ 夕:○
12	9月14日 (木)	コペンハーゲン コペンハーゲン発	午前 15:45	SK-983	資料整理 オプションツアー:世界遺産 クロンボー城視察 空路、成田空港へ(時差+7時間、所要10時間50分) (機内泊)	朝:○ 昼:○ 夕:機
13	9月15日 (金)	成田空港着	09:35		到着、解散	朝:機

※利用航空会社:SK / スカンジナビア航空

※訪問施設については現在調整中のため、施設名に変更が生じる場合はございますが、施設種類については変更が無いように
致します

※訪問施設での利用者の方々との「交流会」は、現時点では訪問施設が現在調整中のため予定となっております。
確定は、訪問施設確定後にご案内させていただきます。

企画のポイント 民間社会福祉施設等職員海外研修(北米班)

= 北米における最新の高齢者ケアを学ぶ =

◎日本が参考にしたいカナダの高齢者ケアを見る

- 1. カナダでの社会保障と高齢者福祉制度について**
 - 切れ目のない継続的なケアの実現に向けて
 - 州における施設在宅ケアの重点的拡充について
- 2. 介護予防の重要性及び生活不活発病の克服、予防と改善**
 - 介護予防により高齢者自身の活性化、自己選択、自己決定させる介護の在り方
 - 予防サービスとして運動、口腔ケア、栄養 等の包括的ケアについて
- 3. カナダの高齢者ケア現場、カナダにおける認知症ケアを見る**
 - カナダの介護者との懇談の場を設けます。
 - 施設利用者との交流を図ります。
 - カナダのパーソン・センタード・ケアを見る
- 4. 介護補助器具の有効的な活用、最新の補助器具を見る**

人の手に頼らず、介護補助器具を効果的に使い、効率的、能率的な仕事

◎日本が参考にしたいアメリカの認知症ケアを見る

- 1. アメリカのCCRC(Continuing Care Retirement Community)に見る介護の在り方**
 - 高齢者ケアが継続的に行える集合住宅内にあるケア施設の役割。
 - 高齢者の要介護に合わせたそれぞれの施設同士の連携
 - アメリカのCCRCを参考に日本版CCRCの在り方を探る
- 2. 認知症患者とのコミュニケーション術「ハリデーション」の進化と共に生きる環境づくり**
 - 介護する側が「認知症患者」に対し共感して接する実際の方法
 - 認知症患者の経験、感情を認め、共感し、カブける具体例
 - 徘徊することの「意味」のとらえ方
 - 「嘘をつかない」「ごまかさない」ことからの信頼関係の築き方
 - 介護者が認知症患者に接する前に行う「センタリング」の方法
- 3. アメリカにおける高齢者ケアの実際、現場を見る**
 - 施設における機能維持のためのリハビリ現場と自立支援
- 4. ボランティアの関わり方、地域との関わり**
 - 地域包括ケアとボランティア活動の関わり

民間社会福祉施設職員等海外研修・調査（北米班／高齢者福祉）

日数	月日	曜	発着地	時刻	交通機関	摘要	食事
1	2017年 9月24日	日	東京(成田)発 バンクーバー着	18:20 11:25	JL-18 専用車	成田国際空港に集合。一路、直行便にてバンクーバーへ。《所要時間:9時間5分》着後、市内視察を経てホテルへ。 【バンクーバー泊】	昼:機 夕:○
2	9月25日	月	[バンクーバー]	午前 午後	専用車 専用車	●バンクーバー・ヘルスカウンティング・ケア・ディビジョン(行政機関) ●ウインタミア ケアセンター訪問(認知症ケア施設) 【バンクーバー泊】	朝:○ 昼:○ 夕:○
3	9月26日	火	[バンクーバー]	午前 午後	専用車 専用車	●リタイアメント・コンセプト訪問(インディペンデント・リビング) ※スタッフ及び利用者との懇談及び交流 ●アビーフィールドハウス・オブ・バンクーバー訪問(高齢者住宅) 【バンクーバー泊】	朝:○ 昼:○ 夕:○
4	9月27日	水	[バンクーバー]	午前 午後	専用車 専用車	●バンクーバー・セコンド・マイル・ソサエティ訪問(インディペンデント・リビング) ●サウス・グランビル・パークロジ訪問(認知症専門ナーシングホーム) 【バンクーバー泊】	朝:○ 昼:○ 夕:○
5	9月28日	木	[バンクーバー]	終日	専用車	バンクーバー市内公共文化施設視察 【バンクーバー泊】	朝:○ 昼:○ 夕:○
6	9月29日	金	バンクーバー発 シアトル着	午前 午後	専用車	バンクーバーを出発し、専用車にてアメリカシアトルへ。 《所要時間:3時間:260km》 着後、シアトル市内公共文化施設視察 【シアトル泊】	朝:○ 昼:○ 夕:○
7	9月30日	土	[シアトル]	終日	各自	シアトル市内公共文化施設視察 【シアトル泊】	朝:○ 昼:○ 夕:○
8	10月1日	日	シアトル発 サンディエゴ着	09:55 12:36	AA-7102	専用車にて空港へ。航空機にてサンディエゴへ。 《所要時間:2時間41分》 終日、資料整理等、各自自主研修 【サンディエゴ泊】	朝:○ 昼:○ 夕:○
9	10月2日	月	[サンディエゴ]	午前 午後	専用車 専用車	●カウンティ・オブ・サンディエゴ・ヘルス・アンド・ヒューマンサービス訪問(行政機関) ●ホワイト・サンズ・ラホーヤ訪問(CCRC) 【サンディエゴ泊】	朝:○ 昼:○ 夕:○
10	10月3日	火	[サンディエゴ]	午前 午後	専用車 専用車	●ジェイコブ・ヘルスケア・センター訪問(高齢者複合施設) ※スタッフとの懇談及び交流 ●レオ・ピスタ・ヘルスケアセンター訪問(ナーシングホーム) 【サンディエゴ泊】	朝:○ 昼:○ 夕:○
11	10月4日	水	[サンディエゴ]	午前 午後	専用車 専用車	●パシフィカ・シニア・リビング訪問(高齢者複合施設) ●ステラケア訪問(認知症専門ナーシングホーム) 【サンディエゴ泊】	朝:○ 昼:○ 夕:○
12	10月5日	木	サンディエゴ発	13:20	JL-65	サンディエゴを出発し、帰国の途へ。 《所要時間:11時間35分》 【機内泊】	朝:○ 昼:機
13	10月6日	金	東京(成田)着	16:55		帰国手続き終了後、解散。	朝:機

※航空機便名、時間、訪問先については変更となる場合があります。

※利用予定航空機:(JL)(AA)

企圖のポイント

研修内容のテーマ

各種セラピー及びアクティビティーについて学ぶ

ダイバーショナルセラピーやアートセラピーなど各種セラピーを豪州の施設では行っており、今後の認知症ケアやアクティビティーを実施するうえで大いに参考に部分について学ぶ

ホームケア・パッケージ・プログラムについて学ぶ

CACP、EACH及びEACH-D(ハイケアレベルの認知症高齢者ケアを在宅で提供)を統合し、刷新した在宅ケアサービスプログラムについて、どのような体制作りやどのようなケアサービスをどのように行うことで、重度者の在宅生活を維持できるのかなどについて学ぶ。

入居者との触れ合いや施設関係者との意見交換で学ぶ

国を超えて、入居者との交流や施設関係者との意見交換で、わかる実態や問題それと今後の方向性などについて学ぶ。

視察については専門のコーディネーターによるアレンジ手配

オーストラリア シドニーでは認知症ケアのスペシャリストとして現地で活躍され、4年連続で貴協会様の訪問先をアレンジしているコーディネーターが本年度も担当し、同行します。今回は事前講演を予定しています。

本研修に過去6回同行した経験豊富な添乗員のご提案

本人自らもホームヘルパーの資格を有し、現地でのアクシデントにも、迅速な対応で団長や団員からも毎回高く評価されている添乗員をご提案します。

南半球の大自然を体感する研修のご提案

シドニーでは、オーストラリアを代表する動物のコアラやカンガルーなどの見学や世界遺産のオペラハウス、世界自然遺産のブルーマウンテンの郊外視察が日程にあります。

日程表

	月日(曜)	集着地	集着時間	交通機関	内 容	宿 舎	食 事
1	9月29日 (金)	羽田空港発	22:00	QF026	空路、シドニーへ (所要時間8時間25分)	【機内泊】	夕:機
2	9月30日 (土)	シドニー着	08:25	専用車	着後、シドニー市内視察	【シドニー泊】	朝:機 昼:○ 夕:○
3	10月1日 (日)	シドニー	終日	専用車	終日シドニー郊外視察 (ブルーマウンテン視察) ●レストラン個室 食事前 ●コーディネーター千鶴氏の原州福祉についての講義	【シドニー泊】	朝:○ 昼:○ 夕:○
4	10月2日 (月)	シドニー	午前 午後	専用車	●クロウズ・ネスト・センター (NPO法人運営地域コミュニティーセンター) *施設関係者との意見交換 ●サウスイーストシドニーリージョン コミュニティサービス イースト (重度介護者の在宅ケア機関) *施設関係者との意見交換	【シドニー泊】	朝:○ 昼:○ 夕:○
5	10月3日 (火)	シドニー	午前 午後	専用車	●インディペンデント・リビングセンター (福祉介護機器の展示場) *介護器具を利用して体験 ●ホーリー・スピリット・クロイドン (中・低所得者を対象とした高齢者施設) *施設関係者との意見交換	【シドニー泊】	朝:○ 昼:○ 夕:○
6	10月4日 (水)	シドニー	午前 午後 夕刻	専用車	●リー・プレイス・リタイアメント・ハウジング (政府と州住宅省との共同企画のローケア介護施設) ●ウェズリー・ガーデンズ(シドニー最大規模の高齢者施設) *施設入居者との交流 施設内のカフェにて昼食	【シドニー泊】	朝:○ 昼:○ 夕:○
7	10月5日 (木)	シドニー シドニー発	終日 夕刻 22:00	専用車 QF025	終日自由視察 専用車で夕食へ 空路、シドニーへ(所要時間9時30分)	【機内泊】	朝:○ 昼:○ 夕:○
8	10月6日 (金)	羽田空港着	05:30		羽田空港到着後、自由解散		朝:機

※ 利用予定航空会社: QF / カンタス航空